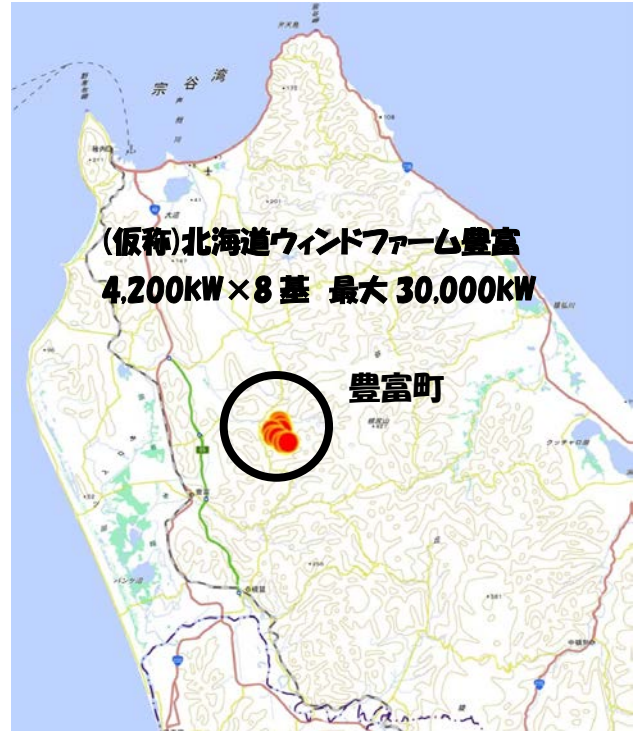


(仮称) 北海道 (道北地区) ウィンドファーム豊富

絶滅危惧種である野鳥を風力発電から守りたい！ 署名のご協力をお願いします！

- 北海道豊富町は、北海道の最北端、稚内市の南に位置する町です。セイコーマートの「豊富牛乳」で有名な**大自然と牧草が広がる酪農産地**です
- 中でも有明地区は、牧草地の上を**天然記念物のオジロワシ**や**絶滅危惧種チュウヒ**が飛び交う人と自然が共存するのどかな場所です
- 今この地に、東京の事業者(Loop リニューアブルエナジー合同会社)が**巨大な風力発電8基**を建設しようとしています
- 経産省からは「**設置の取りやめ**」又は「**配置の大幅な変更**」などを事業者に求める、**重大な勧告**が出されました。
- この暮らしに、**風力発電から発生する騒音**はいりませんそして、風車の**バードストライク**から野鳥の命を守りたい



専門家からの緊急メッセージ① 「北海道 (道北地区) ウィンドファーム豊富 (仮称)」について



猛禽類医学研究所 代表・獣医師 さいとうけいすけ 齊藤慶輔 氏

環境省 オオワシ・オジロワシ保護増殖分科会検討委員

環境省 国内希少野生動植物種保存推進員



多数のワシ類が利用環境としている道北地方において、以前よりバードストライクが多発しており、大型猛禽類にとって大きな脅威となっている。図は北海道内におけるワシ類のバードストライクの発生状況を示したものである。これまで全道各地で確認されているが、圧倒的に道北地方で多発している実態が見てとれる。

(中略)オオワシやオジロワシに対するリスクを正確に把握するためには数年間に渡る詳細な事前調査が必要である。

また、現在の事業案ではバードストライクのリスクを完全に回避することは難しいと思われる。事業の廃止や発電用風車の基数削減、配置の再検討等による大幅な事業規模の縮小など 専門家を交えた抜本的な見直しが必要であろう。仮に規模を縮小して事業を実施する際には、風車設置後の数年間は環境配慮が有効に機能しているか否かを見極め、必要に応じて更なる対応を実施するためのモニタリング調査が必須と考える。

※お寄せいただいたメッセージの一部を掲載しています

